



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 チムニー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3178 URL <https://www.chimney.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 和泉 學
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 阿部 真琴 (TEL) 03(5839)2600
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,924	△4.0	496	△27.8	515	△25.7	248	△22.4
2019年3月期第1四半期	11,379	△1.2	687	△3.3	694	△6.4	320	△19.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 248百万円(△21.4%) 2019年3月期第1四半期 316百万円(△24.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	12.96	12.90
2019年3月期第1四半期	16.72	16.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	28,656	17,435	60.8
2019年3月期	28,146	17,395	61.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 17,431百万円 2019年3月期 17,391百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	11.50	—	11.50	23.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	11.50	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,940	2.3	1,260	24.4	1,270	28.0	570	35.2	29.73
通期	46,250	1.2	2,640	7.4	2,710	8.2	1,215	0.8	63.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	19,340,800株	2019年3月期	19,340,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	148,790株	2019年3月期	172,790株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	19,189,636株	2019年3月期1Q	19,168,060株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、通商問題や海外経済の不確実性などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、依然としてお客様の選別志向は厳しく、居酒屋は食材価格の上昇や人手不足の影響に加え、異業種を含めた企業間競争の激化など、引き続き、厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは価値あるものをお客様に提供するため、食の六次産業化の深耕と地産地消・地産全消から地産店消への深化の推進に取り組むとともに、「食」と「飲」を中心とした総合サービス産業への発展にも取り組んでまいりました。

飲食事業におきましては、お客様から「ありがとう」をいただくため、従業員満足を重視するとともに、新規出店を抑え、既存店舗のサービスレベル向上に努めてまいりました。また、グローバル人財の確保のため、外国人の採用と教育訓練に注力してまいりました。外国籍パートナー（社員、アルバイト）の教育訓練については研修センター店において、外国籍社員が指導員となり、「目の前のお客様を大切に」「お客様に喜んで帰っていただく」ための人財育成に努めております。

アライアンスの展開としましては、昨年、当社の関連会社となった株式会社つぼ八とのシナジーを追求してまいりました。

コントラクト事業におきましては、固定客が継続的に来店される事業形態の特性に対応し、店舗独自の日替わりメニューを充実させることはもちろん、「ステーキフェア」「ご宴会キャンペーン」の実施など、「また行きたくなる」店舗作りを心がけ、各種行事、記念イベント等のケータリング事業の拡大強化に努めました。

店舗数につきましては、当社におきまして直営店の新規出店が2店舗（3店舗の退店）、フランチャイズへの建売が2店舗（フランチャイズ店から直営店への切り替えが2店舗）あったことにより、当第1四半期連結会計期間末の飲食事業直営店の店舗数は345店舗（前期末346店舗、前年同四半期末348店舗）となりました。コントラクト店につきましては、当第1四半期連結会計期間末のコントラクト店の店舗数は93店舗（前期末93店舗、前年同四半期末91店舗）となりました。また、フランチャイズ店の新規出店が1店舗（4店舗の退店）、直営店からの転換が2店舗（直営店への切り替えが2店舗）あったことにより、当第1四半期連結会計期間末のフランチャイズ店の店舗数は271店舗（前期末274店舗、前年同四半期末277店舗）となりました。さらに連結子会社におきましては、当第1四半期連結会計期間末における株式会社紅フーズコーポレーションの店舗は21店舗、めっちゃ魚が好き株式会社は13店舗であり、当第1四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は743店舗、当社の店舗数は709店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、当社における直営店の既存店売上高が対前年比95.9%であったこと等により、10,924百万円（前年同期比4.0%減）となりました。利益面におきましては、食材価格の上昇による影響を極力抑えるため、メニューの絞り込みやアイテム数の削減、スポット商品の機動的な調達、メニュー粗利ミックスのコントロールを行ったこと等により、売上総利益は7,395百万円（前年同期比3.8%減）となりました。営業利益については、経費の見直し等により、496百万円（前年同期比27.8%減）、経常利益は、515百万円（前年同期比25.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、減損損失が減少したこと等により、248百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べて510百万円増加し、28,656百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産及び無形固定資産が298百万円減少した一方で、現金及び預金が976百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて469百万円増加し、11,221百万円となりました。この主な要因は、賞与引当金が189百万円、有利子負債が186百万円減少した一方で、前受収益が724百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて40百万円増加し、17,435百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いが220百万円あった一方で、当第1四半期連結累計期間の業績により利益剰余金が248百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、現時点では2019年5月9日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,193,349	8,169,793
売掛金	805,825	726,027
F C債権	468,559	406,129
商品	323,690	320,567
貯蔵品	23,632	15,945
その他	980,210	894,366
貸倒引当金	△186,539	△213,683
流動資産合計	9,608,729	10,319,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,500,004	4,378,198
その他（純額）	710,241	658,996
有形固定資産合計	5,210,246	5,037,194
無形固定資産		
のれん	5,172,392	5,048,723
その他	27,800	25,918
無形固定資産合計	5,200,193	5,074,642
投資その他の資産		
差入保証金	5,877,276	5,845,870
その他	2,255,310	2,385,016
貸倒引当金	△4,907	△4,970
投資その他の資産合計	8,127,679	8,225,917
固定資産合計	18,538,118	18,337,754
資産合計	28,146,848	28,656,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,882,268	2,733,474
F C 債務	411,302	392,158
1年内返済予定の長期借入金	459,984	459,984
未払法人税等	469,966	435,409
賞与引当金	253,308	63,521
役員賞与引当金	6,304	1,170
資産除去債務	18,618	26,153
その他	2,823,789	3,911,981
流動負債合計	7,325,542	8,023,854
固定負債		
長期借入金	295,068	180,072
退職給付に係る負債	199,055	202,023
資産除去債務	938,703	930,087
その他	1,992,757	1,884,966
固定負債合計	3,425,583	3,197,149
負債合計	10,751,125	11,221,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,772,621	5,772,621
資本剰余金	2,369,672	2,330,960
利益剰余金	9,595,117	9,623,430
自己株式	△365,131	△314,419
株主資本合計	17,372,280	17,412,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,805	18,753
退職給付に係る調整累計額	566	424
その他の包括利益累計額合計	19,371	19,178
非支配株主持分	4,070	4,125
純資産合計	17,395,722	17,435,896
負債純資産合計	28,146,848	28,656,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	11,379,770	10,924,019
売上原価	3,694,339	3,528,488
売上総利益	7,685,431	7,395,531
販売費及び一般管理費	6,997,992	6,899,368
営業利益	687,438	496,163
営業外収益		
受取利息	1,226	874
受取配当金	6,132	6,242
受取手数料	16,194	17,026
その他	4,991	13,026
営業外収益合計	28,544	37,170
営業外費用		
支払利息	2,275	689
持分法による投資損失	—	13,415
支払補償費	15,618	1,851
その他	3,880	1,729
営業外費用合計	21,774	17,687
経常利益	694,209	515,646
特別利益		
受取補償金	26,500	—
特別利益合計	26,500	—
特別損失		
固定資産売却損	2,262	—
固定資産除却損	20,885	8,430
減損損失	114,666	29,236
その他	2,998	378
特別損失合計	140,813	38,045
税金等調整前四半期純利益	579,896	477,600
法人税、住民税及び事業税	397,009	359,849
法人税等調整額	△137,697	△131,048
法人税等合計	259,312	228,801
四半期純利益	320,583	248,799
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	320,525	248,745

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	320,583	248,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,115	△51
退職給付に係る調整額	△261	△141
その他の包括利益合計	△4,376	△193
四半期包括利益	316,206	248,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,148	248,551
非支配株主に係る四半期包括利益	58	54

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、居酒屋を中心とした飲食事業の他にセグメントとして、コントラクト事業がありますが、飲食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。